

## 森林とのふれあいに向けて 森林ふれあい担当者等会議

平成二七年度「森林ふれあい担当者等会議」を10月20日(火)・21日(水)の二日間にわたり局等で開催しました。

一日目は、高知県立牧野植物園(高知市)において、黒岩講師から標高差により出現する樹木や牧野博士が命名した樹木の名前や特徴(花や実など)を教わり、各署等で実践に生かせる手法も学びました。(写真上)

二日目は、局で、技術普及課の業務・取組等について打ち合わせ、意見交換を、また、森林ふれあい研修受講者からの伝達研修(徳島署・四万十川森林ふれあい推進センター)も実施しました。

二日間の会議を通じて、局署等の取組についても積極的に意見交換する場面も多く見られました。

今回の会議で得られた情報等を今後の業務に活かしてください。



樹木をまなぶ



何の実かな・・・

## 誌上 森林環境教育

### 校庭にある樹木の名前を調べてみよう

#### 目標

樹木を大きく分けるとき、広葉樹・針葉樹、落葉樹・常緑樹に分けたりする仕方があることを感覚的につかむ。

#### 準備

ノート、虫めがね、巻き尺

#### 手順

##### ①探してみよう

校庭にある樹木名を教えてもらい、葉を手にとって、かたち、模様を観察し記録。

##### ②調べてみよう

図書館の樹木図鑑を使って、樹木の名前から探し、広葉樹か針葉樹、落葉樹か常緑樹かを調べる。

##### ③やってみよう

「葉」のかたちや特徴をノートに記入、葉を見れば名前が言えるようにしよう。

##### ④調べてみよう

自分の市や町の「木」の樹種名が何か、どうして選ばれたのかその特徴などを調べて発表できるようにする。

(大日本山林会 日本の森林と林業より)



### 「ケガや病気に効く木や草花」って

日本の薬草は約200種、特に重要なものは70~80種。「先人は百草を舐めて一葉を知った。」長い年月をかけて今日に伝承。



薬局でドクダミ(写真)を求めると「十薬」または「重薬」、センブリ(当薬)、ハトムギ(ヨクイニン)、アケビ(木通)など、薬草には名前が二つあるものが多い。植物名と生薬が同じものは、サフラン、ベニバナ、アマチャなど。

大変危険な毒草は、シキミ、フクジュソウ、チョウセンアサガオ、スズランなど。

覚えておくと便利な薬草は、アンス、ウコギ、キク、サフラン、ツワブキ、ムクゲなどで、実用書などを参考にしながら用いられてはいかがでしよう。(もっと知りたい木の話より)

#### 編集後記

11月(霜月)に。里山の銀杏も美しく黄葉。自然の営む色づけに季節の深まりを実感。(上段下の写真はイスノキ(マンサク科)の果実)。